

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Rotary club presidents and secretaries



インスピレーションになるう

ガバナー月信 Vol.3

国際ロータリー第2840地区〈群馬〉2018-2019年度

基本的教育と識字率向上月間



2018 09

宮内ガバナー事務所
群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL 027-212-2840
FAX 027-212-2841

目次

ガバナーメッセージ	01
バリー・ラシンRI会長メッセージ	03
地区ガバナー候補者推薦についてのお願い	05
インターアクト年次大会	06
第1回ガバナー諮問委員会	08
第1回公共イメージ委員会	10
第1回女性ネットワーク委員会	11
青少年交換委員会（長期派遣学生壮行会）	12
R L I ディスカッションリーダー研修会	14
ぐんま経済新聞掲載企画について	15
森田ガバナーエレクトからのお知らせ	18
ガバナー公式訪問要領・日程表	26
年間行事予定表	29
周年行事予定クラブ	33
新会員紹介	34
文庫通信	36
出席報告	37
コラム	38
ハイライトよねやま	42
ガバナー事務所よりお願い	44

ガバナーメッセージ

国際ロータリー 第2840地区
2018-2019年度ガバナー
宮内 敦夫

RI特別月間テーマ：「基本的教育と識字率向上月間」

地区ロータリアンの皆様、残暑お見舞い申し上げます。

6月28日から7月8日にかけて日本を襲った集中豪雨は、西日本の広い範囲に壊滅的な被害をもたらしました。そして、台風12号は関東から九州まで逆進し、被災者に追い打ちをかけました。このことにつき、各クラブ会長を通じて西日本豪雨被害義援金を皆様にお願ひしましたところ、早々にご送金いただき誠にありがとうございました。ご協力に衷心より感謝申し上げます。この度の被害は西日本の多県にわたりますので、配分方法についてのガバナー会の判断を待って、ガバナー事務所が責任をもって被災地に届くようにいたします。

9月は「基本的教育と識字率向上月間」(The Month of Literacy)です。ロータリーの戦略計画の戦略目標<①クラブのサポートと強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上>の内の「人道的奉仕の重点化と増加」の中で、ポリオ撲滅・青少年や若きリーダーの支援と並んで、「6つの重点分野」と関連したプログラムや活動において持続性を高めること、が挙げられています。「6つの重点分野」とは、ご存知のように以下のものです。

1. 平和と紛争防止/紛争解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 「基本的教育と識字率向上」
6. 経済と地域社会の発展

そして、「基本的教育と識字率向上」の目的と目標は、次の通りであります。

<目的>

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような形で、人々の基本的教育と識字能力の習得を支持することを可能にする。

<目標>

1. 基本的教育と識字能力をすべての人々に与える地域社会の力を高めるプログラムを支援し、地域社会の参加を促進
2. 地域社会における成人の識字率の向上
3. 教育における男女格差を減らす活動
4. 基本的教育と識字率向上に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

日本は教育に財政的に力を入れ、基本的教育と識字率向上は図られているので切実に思いますが、世界を見ると、まだ解決を見ない大きな問題であります。

RI特別月間テーマ：「基本的教育と識字率向上月間」

毎年9月8日は国際識字デー(International Literacy Day)です。この日はユネスコによって1965年11月17日に制定されました。目的は個人とコミュニティ、そして社会にとっての識字(読み書き能力、英語ではliteracy)の重要性を強調することで、世界中で式典が行われています。およそ7億7600万人の成人には最低限の識字スキルすらない。世界中で5人に1人は読み書きができず、そのうち3分の2は女性である。7500万人の子供は学校に行っておらず、さらにより多くの子供は定期的にかかれないか、中退している。

UNESCOのGlobal Monitoring Report on Education for All (2008)によると、南アジアと西アジアは成人識字率が一番低い(58.6%)地域で、サブサハラが二番目に(59.7%)、アラブ諸国が三番目に低い(62.7%)。世界で一番識字率が低いのはブルキナファソ(12.8%)で、以下ニジェール(14.4%)、マリ(19%)と続く。このレポートには識字率と貧困、そして識字率と性差別の関係がはっきり表れている。

ユネスコの2007年と2008年のテーマは“Literacy and Health”である。このテーマは国連の識字率向上の10年の内2007年と2008年の強調点でもある。特に2008年の国際識字デーではHIVや結核、マラリア等の伝染病など、世界で一番重要な、公衆衛生に関するいくつかの懸念に主眼を置いて強調された。書かれた言葉のもつ絶大な価値へ人々の意識を高めることと、識字社会を促進する必要性から、多くの文筆家がUNESCOを支援している。(日本では、吉本ばなな女史などが有名)識字能力の問題への意識を高めることに貢献しているのは文筆家だけではない。文筆家が戦うそばで、さまざまな会社と慈善団体が非識字との戦いをサポートしている。筆記具メーカーのモンブラン、国際ロータリーなどである。

(出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)

私は、フィリピンやラオスの小学校を視察する機会があり、教育の現場を見てきました。基本的教育と識字率の低迷は、教育単独の問題ではなく、貧困、疾病、衛生などの基本的問題と絡み合っていることを知りました。6つの重点分野は相関関係にあるのです。

今までに多くのクラブが教育支援、生活支援を国内外で実施してきました。私の所属する館林RCでは、ラオスの小学校に教育機材や文具の提供、フィリピンの小学校に井戸の提供などしてまいりました。フィリピンで、満身に食事のできない子供たちにロータリークラブが週一回給食をするFeeding Programにも協力してきましたが、食事がもらえるので、出席率が上がってきたと聞いています。

バリー・ラシンRI会長メッセージ

ラシン会長より、ローターアクトの奨励についてのメッセージが届きましたので、皆様にお知らせいたします。(ガバナー 宮内 敦夫)

親愛なるロータリーリーダーの皆さま

ロータリーの新しい戦略計画を前にして、ひとつ明らかなことがあります。未来のロータリーを築くためには、未来に向けたロータリーのリーダーシップの育成に、これまで以上に力を入れて取り組まなければならないということです。つまり、若い世代にロータリーの奉仕活動に参加してもらい、奉仕の心をもつ若い職業人をロータリーファミリーに迎え入れるために、より一層努力することです。

50年前にロータリーがまさにそのために立ち上げたプログラムが、ローターアクトです。多くの点で、ローターアクトは驚異の成功を遂げてきました。今日、1万クラブで25万人のローターアクターが活動しています。

奉仕活動においても成長においてもローターアクトが大きな成果をあげてきた一方で、ロータリーは、もともと期待していたロータリアン育成機関としての存在へとローターアクトが成長を遂げるための支援をほとんど怠ってきました。ローターアクトクラブを提唱するロータリークラブは27%にとどまり、ローターアクトで活動する才能とやる気にあふれた若者がその後ロータリーへと入会する率は、非常に低いのが現状です。

この状況を一変させることが、今年度の目標です。そのためには、ローターアクトクラブを提唱するロータリークラブの数を倍増させ（そう、2倍です）、必ずどのローターアクトクラブも歓迎することです。同じ地域にとどまる若い人たちから成る地域社会を基盤としたローターアクトクラブをつくりあげ、その地域のロータリークラブへの入会へとつなげていけるように、戦略的に取り組んでいきたいと考えています。

これまでローターアクトクラブの提唱を検討したことがない方も、ローターアクト・ハンドブックなど、ローターアクト結成についての資料をご参照ください。



ローターアクトクラブを提唱する上でもっとも重要なのは、ローターアクトとロータリーとの関係を密に保つことです。合同例会を開き、合同プロジェクトを実施し、ロータリークラブの例会にローターアクターを招きましょう。ローターアクターを年下の同僚として扱い、彼らがもたらすインスピレーション、知識、新しいアイデアを奉仕活動に取り込むのです。提唱したローターアクトクラブのローターアクターたちと知り合い、その中で誰がロータリーに入会しそうかを見極め、時が来たらロータリーに誘ってあげましょう。または、彼らのニーズに合った新しいロータリークラブの結成も検討し、これまで以上に多様で、柔軟で、強いロータリーをつくりあげていきましょう。ウェビナー「Building New Clubs Together」（英語のみ）では、新しいクラブのニーズを判断する方法、創立会員の勧誘、リーダーシップチームの結成のためのアイデアを紹介します。8月9日に、米国中部標準時の午後5時～6時に開催されます。

ローターアクトクラブの結成と支援に役立つさまざまな資料をご紹介しますので、この私の呼びかけに応えてくださる方は下記リンクをクリックし、ローターアクトの冒険にぜひ踏み出してください。

[ローターアクトクラブ結成](#)に関心のある方は[ここをクリック](#)

一緒にいるのがロータリアンでもローターアクターでも、または地域社会の人びとでも、ロータリーの誇りを示しましょう。ロータリーは素晴らしい団体です。そして、私たちの一人ひとりがインスピレーションになれるのです。

心を込めて2018-19年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

受信者リスト：地区ガバナー、ガバナー補佐、クラブ会長、地域リーダー（ロータリー公共メーシコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、恒久基金／大口寄付アドバイザー、ロータリーコーディネーター）、理事

地区ガバナー候補者推薦についてのお願い

ロータリー・クラブ会長 各位

2021-2022年度

地区ガバナー候補者推薦についてのお願い

ガバナー 宮内 敦夫
ガバナー指名委員会委員長 本田 博己

R I 細則 14 条 1 節により、2021 - 2022 年度の地区ガバナー候補者を本年度末（2019 年 6 月末）までに指名・推薦する必要があります。

つきましては、R I 細則 14 条 2 節 4 項（クラブからガバナーノミネーを推薦）に基づき、2021 - 2022 年度国際ロータリー第 2840 地区ガバナー候補者をご推薦賜りたくお願い申し上げます。

記

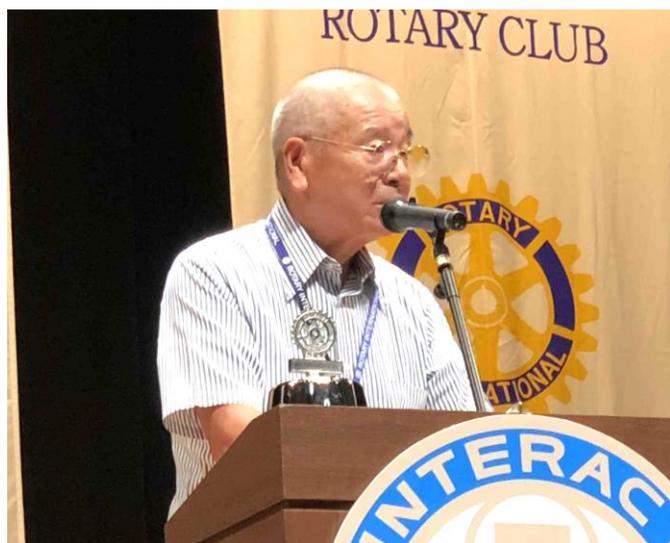
地区ガバナー候補者の資格要件として、下記の各項が要求されます。詳しくは 2016 年手続要覧（71・72 ページ）をご参照ください。

- (1) 地区内のクラブの瑕疵なき会員であること
- (2) 完全に会員資格を有する者
- (3) クラブ会長を全期務めたことのある者
- (4) ガバナーの任務と責任を果たす意思と能力のある者
- (5) ガバナー就任時点で通算 7 年以上クラブ会員であること

ガバナー候補者推薦状は、R I 細則 14 条 2 節 4 項をご参照の上、クラブ例会で採択された決議の形で、クラブ幹事が正式に証明した文書をもって、2018 年 12 月 31 日までに、宮内ガバナー事務所にご提出ください。

送付先 〒371-0855
群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1 階
宮内ガバナー事務所

インターアクト年次大会



開催日：平成30年7月21日(土)

場 所：群馬会館

報告者：地区副幹事 関井 宏一

国際ロータリー第2840地区 2018～2019年度 インターアクト年次大会 大会テーマ『災害に備えて ～人を守る、自分を守る～』と題して群馬会館に於いて、2018年7月21日(土)に開催されました。

ホスト校：クラーク記念国際高等学校前橋キャンパス

ホストクラブ：前橋南ロータリークラブ

後 援：前橋市教育委員会

参加者 来賓：群馬県教育委員会 教育長 笠原 寛 様

前橋市長 山本 龍 様

自衛隊群馬県地方協力本部 本部長 大塚 英司 様

前橋市教育委員会 教育長 塩崎 政江 様

インターアクター186名 顧問21名 来賓4名 ロータリー地区役員11名 ロータリーアクト地区役員 1名 ロータリアン48名 救護班(前橋ロータリークラブ) 2名 前橋南ロータリークラブ24名 前橋南ロータリーアクト2名 ホスト校教諭 5名 合計305名

大会プログラムは下記の通り

8:45～9:30 受付・記念撮影

9:30～10:10 開会式

10:20～11:00 基調講演『災害に学ぶ～日本の震災から学ぶこと～』
自衛隊群馬県地方協力本部

11:00～11:20 実地体験説明と分科会説明

11:20～13:20 実地体験 昼食『自衛隊群馬県地方協力本部による炊き出し体験』
地震体験車で地震体験と煙内避難体験

13:20~14:50 分科会

①『避難所運営ゲーム（HUGゲーム）』

避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくか模擬体験ゲーム

②『防災シュミレーション（クロスロードゲーム）』

阪神淡路大震災を元にした実話から、進路をどう進む？

③『避難所開設訓練』

実際の避難所を開設します。

居住区、簡易トイレ、テント、自家発電、救急救護の設営

15:00~15:30 分科会発表・台湾研修報告会

第一分科会 「避難所運営ゲームで運営の大変さを知りました。ゲームを活かしていきたい」

第二分科会 「防災シュミレーションゲームを通していろんな人と意見交換できた。周りの人を助け、正しい行動をしたい」

第三分科会 「避難所開設訓練で学んだAEDを使って人命を救助していきたい」

など、実践に役立つ体験ができて、生徒たちからは、参加してよかったという声をいただきました。

15:30~16:10 閉会式

以上のスケジュールで滞りなく、無事終了しました。



基調講演『災害に学ぶ ~日本の震災から学ぶこと~』



昼食『自衛隊群馬地方協力本部による炊き出し体験』



①『避難所運営ゲーム（HUGゲーム）』



②『防災シュミレーション（クロスロードゲーム）』



③『避難所開設訓練』

第1回ガバナー諮問委員会

開催日：平成30年7月21日(土)
場 所：前橋商工会議所
報告者：地区幹事 小暮 雅丈

国際ロータリー第2840地区のパストガバナー13名(諮問委員)宮内ガバナー、森田ガバナーエレクト、小暮、広瀬、新井地区幹事、斉藤会計長 計19名が出席し、第1回ガバナー諮問委員会が開催された。宮内ガバナーは挨拶の後、議長として会議を進行した。

【ガバナー挨拶】

【報告事項】

《田中直前年度報告》

- ・地区会員数報告 <年度別会員数推移>
- ・ロータリー財団寄付明細 <2017.07.01 ~ 2018.06.30>
- ・米山記念奨学寄付明細 <2017 07.01 ~ 2018.06.30>

《宮内年度報告》

1) 委員会活動報告

- ・RI2840地区2018-2019年度テーマ別派遣講師一覧
- ・2018-2019年度青少年交換プログラム長期交換学生
(派遣・受け入れとも長期4名、短期無し)
- ・2018-2019年度米山記念奨学生指定校決定一覧(9校44名)
- ・2018-2019年度ロータリー財団地区補助金の申請と報告(改正点について)

2) 地区大会の件

- ・宮内年度地区大会実行委員会事務局開設について

住所：〒374-004 館林市近藤町1718-347 ヤタガワコーポ1-106

TEL：0276-51-5788 メール：miyauchi@cc9.ne.jp

事務局 米沢 康 勤務時間：月・火・木・金の10:00~17:00

3) 地区・ガバナー事務所契約更新報告

【諮問事項】

1) 地区大会及び関連行事の件

- ・地区大会記念チャリティーゴルフ大会について（9月9日(日) 鳳凰ゴルフ倶楽部)
- ・指導者育成セミナープログラム(案)について(10月6日 館林市文化会館小ホール)
- ・RI会長代理歓迎晩餐会(案)について(10月6日 ジョイハウス)
- ・地区大会プログラムについて(10月7日 館林市文化会館大ホール)
- ・地区大会委員会報告について
- ・地区大会決議(案)について

2) 次年度(森田年度)組織編成について

【その他】

1) 2021-2022年度地区ガバナー候補者推薦のお願い

2) ガバナー会報告

- ・米山梅吉記念館特別寄付について
- ・翻訳検討委員会専門委員推薦について

3) ロータリー研究会について

4) RI理事指名委員会開催について

5) 西日本豪雨災害被災者に対する義捐金について

第1回公共イメージ委員会

開催日：平成30年7月21日(土)
場所：ガバナー事務所
報告者：地区副幹事 関井 宏一

2018年7月21日(土) 15:00よりガバナー事務所に於いて、国際ロータリー第2840地区 第1回公共イメージ委員会会議が開催されました。槻岡行支委員長をはじめ、宮内敦夫ガバナー、アドバイザーとして、福田一良PG、委員4名、地区副幹事1名、計8名で以下の議題を協議しました。



1. 公共イメージアップをどの様に図って行くか？

槻岡委員長：上毛新聞等の広告欄に載せるには、予算的に難しい。クラブまたは地区での、事業を記者クラブに連絡して、取材してもらう。

群馬経済新聞の社長を知っているので、安く掲載がお願いできる。

福田PG：群馬テレビの朝の番組は、無料なので、使う価値がある。

宮内G：途上国の支援で、不要になった、靴をボランティア団体に寄付する。

2. オン・ツー・ハンブルグの参加目標人数は50名。

旅行代理店は、8月以降に検討する。



第1回女性ネットワーク委員会

開催日：平成30年7月21日(土) 16:30

場 所：前橋問屋センター 幸の間

報告者：地区副幹事 後藤 英世

司 会：地区副幹事 後藤 英世

第1回女性ネットワーク委員会が開催されました。

開会に先立ち阿部豊子女性ネットワーク委員長より挨拶があり、引き続き参加者全員の自己紹介が行われました。

議題につきましては、「本年度の計画について」忌憚の無い意見交換が行われ、下記の通り提案されました。

- ・現在 女性会員151名 今後50名位の増員を目指す
- ・女性会員「セミナー・研修会」等の企画・立案
- ・分区ごとに学習をする（分区を超えた学習含む）
- ・第2840地区の女性会員全体での会議等の検討
- ・他クラブの女性会員（先輩の会員さん）と知り合い、話を聞きたい
- ・女子会を開催し、講師をガバナー補佐に依頼をしたらどうか？

以上のように様々な意見交換等がありました。

最後に阿部豊子委員長よりまとめが行われ委員会は終了となりました。

その後、公共イメージ委員会との合同懇親会を18:00より「四季彩」にて行ないました。



青少年交換委員会（長期派遣学生壮行会）

開催日：平成30年7月29日(日)

場 所：前橋問屋センター

報告者：地区副幹事 関井 宏一

2018年7月29日（日）前橋問屋センター2階「春夏の間」に於いて2018～2019年度青少年交換長期派遣学生壮行会が開催されました。

参加者は交換留学生3名、保護者・ロータリアン含め、関係者全員で65名

青少年交換委員会委員とROTEXメンバーは、9:30より打ち合わせ。

長期派遣学生壮行会

壮行会では、派遣学生たちは、英語によるプレゼンテーションを行い、派遣先での活動内容を発表してくれました。

そして宮内ガバナーから派遣学生に対し講義が行われ、激励の言葉を述べられました。

また2017年度に体験した、派遣学生からのアドバイスを真剣な眼差しで聞いていました。

最後にROTEX囂友理会長による、奨励の挨拶があり、終了後に全員で記念撮影。

クラブ・派遣学生オリエンテーション

派遣学生、ホストクラブと保護者に分かれて派遣先での禁止事項等々の説明。

保護者とロータリアンは受け入れ学生のケアや日本滞在中の保険や、在留の届けの資料などの説明を受けました。

以上のスケジュールで滞りなく、無事に終了いたしました。





R L I ディスカッションリーダー研修会

開催日：平成30年8月4日(土)

場 所：前橋問屋センター

報告者：地区副幹事 山本 樹

宮内年度のRLIセミナーを、より良いものとするため、ディスカッションリーダーの方々25名と、2580地区からの参加者9名の34名で行われました。

宮内ガバナー挨拶の後、竹内地区研修リーダーの主旨説明が行われ、研修会が始まりました。

最初に、本田RLI日本支部ゾーンファシリテーターにより『ディスカッションリーダーの役割と準備』のテーマで45分間説明をいただきました。その後、6つのセッションを3グループに分けて、各グループごとにロールプレイングをしながら進行・内容を確認しました。

その後、全体で集まり、各グループで出た意見・アイデアを発表しあい、再び本田RLI日本支部ゾーンファシリテーターを講師に『話し合いの生み出し方』、『テキストをいかに読み解くか』について勉強会が行われました。

最後に、田中地区研修副委員長の閉会挨拶で研修会が閉じられました。

終了後、6つのセッションリーダーのもとチームミーティングが行われ、パートIからパートIIIまでのテーマ確認とローテーション等を話し合い、解散となりました。



ぐんま経済新聞掲載企画について

ガバナー 宮内 敦夫
公共イメージ委員長 槻岡 行支

拝啓 初秋の候、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、先般各クラブへお知らせ及びご依頼をさせて頂きましたが、本年度も群馬経済新聞様のご協力を頂き、前年度に引き続き、ぐんま経済新聞に毎週、地区内45クラブのクラブ紹介を掲載させて頂きます。

掲載要項と掲載予定を再度お知らせさせて頂きますので、ご確認下さいますようお願いいたします。

尚、本年度は月信の紙面上で掲載面のご紹介ができませんので、掲載面は毎週木曜日発行の「ぐんま経済新聞」でご確認頂けますようお願いいたします。

敬具

【クラブ紹介記事 要項】

1. 木曜日発行の「ぐんま経済新聞」にて、国際ロータリー第2840地区の45クラブのクラブ紹介を毎週1クラブずつ行う。
2. 記載項目
 - クラブ紹介（クラブの特徴やトピックス）
 - クラブ会長挨拶
 - クラブ概要（会長・幹事名、事務局所在地、例会情報など）上記項目を600字程度で記述のこと
3. 会長顔写真を掲載
4. フォーマットは下記の通り

	国際ロータリー第2840地区〈群馬〉
	〇〇〇ロータリークラブ
■会長あいさつ	■クラブ紹介
.....	〇〇会長

記事掲載企画

記事内容：クラブの紹介

原稿（会長の写真を添えて）の提出先：ぐんま経済新聞社 小曾根 要人 様

seisaku@gunkei.com まで

	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切り日 (厳守)
第4分区B	館林	8/2	7/30
	大泉	8/9	
	館林西	8/16	
	館林東	8/23	
	館林ミレニアム	8/30	
第4分区A	太田	9/6	8/23
	太田西	9/13	
	太田南	9/20	
	新田	9/27	
	太田中央	10/4	
第3分区	高崎	10/11	9/27
	高崎南	10/18	
	高崎北	10/25	
	高崎東	11/1	
	高崎シンフォニー	11/8	
	高崎セントラル	11/15	
第2分区B	伊勢崎	11/22	11/8
	群馬境	11/29	
	伊勢崎中央	12/6	
	伊勢崎南	12/13	
	伊勢崎東	12/20	

	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切り日 (厳守)
第2分区A	桐生 桐生南 桐生西 桐生赤城	検討中	12/13
第1分区	前橋 前橋西 前橋東 前橋北 前橋南 前橋中央		1/24
第6分区	富岡 藤岡 安中 藤岡北 富岡中央 碓氷安中 藤岡南 富岡かぶら		3/7
第5分区	渋川 沼田 草津 中之条 沼田中央 渋川みどり		4/18

森田ガバナーエレクトからのお知らせ

ガバナーエレクト事務所開設のご挨拶並びに
2019-20年度地区委員会 委員 候補者推薦のお願い



ガバナーエレクト
森田 高史(伊勢崎RC)

謹啓 残暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
会員の皆様におかれましては、日頃より、ロータリー活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私は、来るガバナー年度であります2019-2020年度へ向けて準備を進めてまいりましたが、お蔭様で、本年9月1日、宮内ガバナー事務所に併設する形で、森田ガバナーエレクト事務所を開設させて頂きました。

素より浅学非才の身であります、何事にも「より良く」という精神で望んでまいりたいと存じますので、新井幹事以下ガバナースタッフともども、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

また、早いもので、私の年度の地区組織編成の時期を迎えることとなりました。
既に、8月20日付にて、全45クラブの会長並びに会長エレクト様宛て、「国際ロータリー第2840地区2019-2020年度地区委員会委員候補者推薦のお願い」を配信させて頂きました。

後記、「2019-2020年度国際ロータリー第2840地区組織予定図」並びに「第2840地区2019-2020年度主な委員会の活動内容」をご参照の上、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。

近年、各地区におきましても「地区がクラブを知らない」とともに、「クラブが地区を知らない」との指摘もあり、地区・クラブ間の情報共有が充分でない側面もありますので、可能な限り各クラブ1名以上のご推薦を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

【森田年度ガバナースタッフ】

地区幹事	新井 良和	地区会計長	高橋 郁夫
地区副幹事	多部田 敬三 関 徹也 岸 慈音 久保木 雅彦 加藤 学 小澤 弘		
	田中 泰亨 山崎 裕紀雄 安部 良憲 松島 光雄 高橋 しげみ 須藤 正也		(伊勢崎RC)

森田ガバナーエレクト事務所

〒371-0855 前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

T E L 027-212-2840 F A X 027-212-2841

E-mail morita@rid2840.jp (事務局員 入山 こそ江・佐藤 由紀恵)

国際ロータリー第2840地区
森田ガバナーエレクト事務所 地図

2018～2019年度 国際ロータリー第2840地区
森田高史ガバナーエレクト事務所

所在地 : 〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2
前橋問屋センター会館 1F

TEL : 027-212-2840

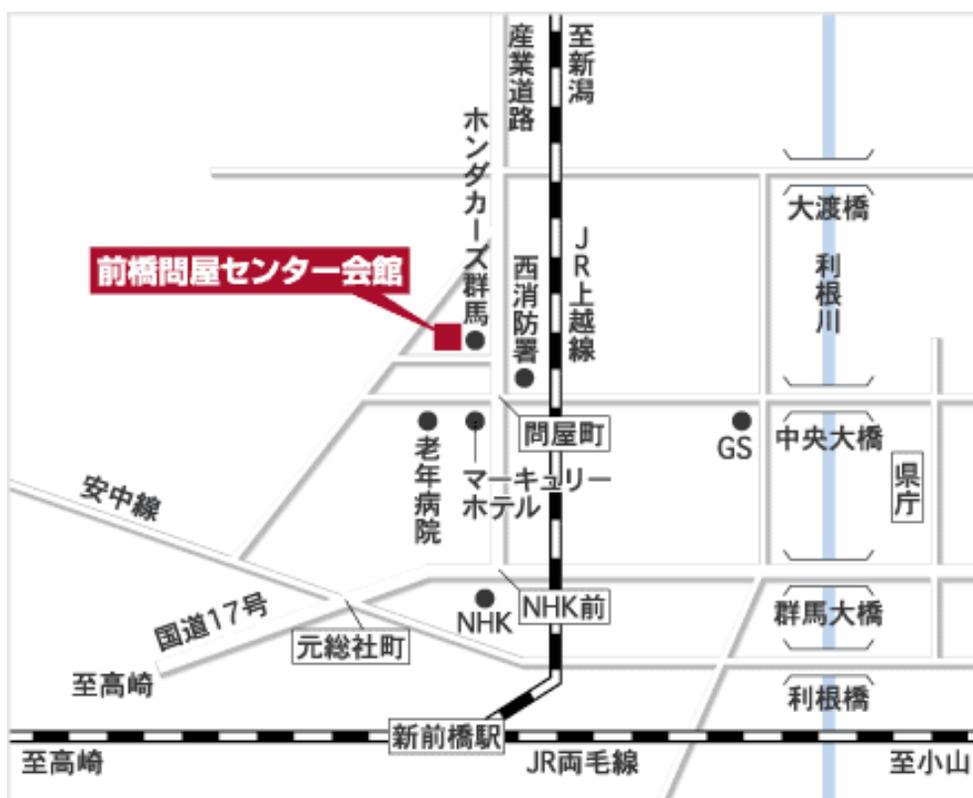
FAX : 027-212-2841

E-mail : morita@rid2840.jp

勤務時間 : 午前10時～午後5時 (土・日・祝日は休み)

事務局員 入山 こそ江・佐藤 由紀恵

※当事務所は宮内ガバナー事務所に併設となります。



第2840地区 2019-2020年度 主な委員会の活動内容 (地区委員会推薦依頼書添付書面)

1. 地区研修委員会

地区の研修委員会は、地区研修リーダーを中心に、地区の研修プログラムを統括します。ガバナーエレクト年度において、いわゆる三大研修（地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会）の企画を行うとともに、各種研修を監督し、R L I 推進委員会をサポートし、研修面で、ガバナーとガバナーエレクトを支援します。

また、同時にクラブ研修リーダーセミナーを企画するなど、クラブ研修リーダーを支援します。

地区研修委員会の構成は、地区研修リーダーを委員長とし、直前ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの他、地区役員等の歴任者や、クラブのパスト会長をはじめロータリーの知識や経験豊富な方々で構成したいと考えています。

2. 年次報告書作成委員会

年次報告書作成委員会では、地区における1年間の活動を年次報告書という形で冊子にまとめて頂きます。

当地区では、今日まで年次報告書につきましては、主にガバナースタッフとガバナー事務局で編纂しており、委員会の設定が行なわれておりませんでした。本年度は委員会を組織して、輩出された委員を中心に、フォーマットを統一したり、報告書に掲載すべき情報を吟味するなど、一層充実した年次報告書を配信したいと考えております。

今後、年次報告書作成委員会が継続されますと、委員を経験した会員が多数輩出されることとなり、R I や地区の情報が一層クラブに浸透していくものと考えております。

3. 会員組織強化委員会

クラブの未来を確保するには、新会員を迎え入れ、現会員の活発な参加を促す必要があります。

当委員会は8分区のガバナー補佐で構成し、地区の増強目標を達成するため、各クラブの増強目標の企画・立案を支援するとともに、地区組織のいわゆる縦軸のライン（ガバナー→ガバナー補佐→クラブ）で、その実績が上がるようサポートします。

特に、日本の1クラブの平均が39人（2017.7.1 現在）でありますので、平均を下回っているクラブには、重点的に注力して頂きたいと考えております。

また、過年度実施したアンケート等を分析した上で、効果的な「地区会員増強セミナー」を開催し、新会員に対しても、クラブや分区では開催が困難と思われる、オリエンテーションにあたる「新会員セミナー」も前後期各1回程度開催したいと考えております。

4. 女性ネットワーク委員会

女性ネットワーク委員会は、当地区では5年前に設定された委員会で、その目的は女性会員の拡大増強と、現会員の退会防止にあります。

現在、当地区の女性会員は151名で、地区全会員の7%程度であり、日本の平均に近い数値ではありますが、世界の平均（20%以上）には遠く及びません。

退会防止の面からは、分区女子会の開催を推奨するとともに、どうすれば女性会員の拡大が企めるかを具体的に検討し、女性会員予備群（将来の候補者）を対象としたイベントを開催するなど、女性が参加しやすい企画を検討してゆきたいと考えております。

また、女性の現会員を中心に候補者の名簿を作成するなど、クラブにおける女性会員の拡大を具体的に支援してゆきたいと考えております。

5. 公共イメージ委員会

「公共イメージと認知度の向上」は、R Iの戦略計画の3つの優先項目の1つです。

ロータリーのプロジェクトが地域社会にもたらす影響を高めるには、効果的な広報が重要となります。

公共イメージ委員会は、ロータリーを人々に紹介し、ロータリーの活動に対する理解、評価、支援を促す広報の企画と実施にあたります。

また、広報に止まらず、ロータリーの本質的なブランディングを確立、アピールする委員会としても活動して頂きます。具体的には、職業奉仕からスタートしているロータリー組織を、より効果的に地域社会に理解してもらえるような企画や広報を実施してゆきたいと考えております。マーケティングに強い方やマスコミ関係に人脈のある会員は委員会に適任だと思います。

6. 国際大会推進委員会（オンツーフワイ）

毎年開かれる国際大会では、世界中のロータリアンが一堂に集い、活動の成果やアイデア、体験を分かちあいます。当地区では、従来、公共イメージ委員会が所掌しておりましたが、森田年度は、当委員会を設定して、準備を進めてゆきたいと考えております。

森田年度の国際大会は、2020年6月6日（土）～6月10日（水）ハワイで開催されます。

宮内年度の国際大会は、2019年6月1日（土）～6月5日（水）ドイツ、ハンブルクで開催されますので、宮内年度の公共イメージ委員会の活動をスタディーケースとしてその結果も踏まえて、早い段階から森田年度の事前PRや準備を進めさせて頂きたいと考えております。

7. 職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

職業奉仕、国際奉仕、地域社会奉仕委員会は、従来、各委員会が設定され活動しておりましたが、近年、主催が必要となるような具体的活動に乏しいので、森田年度は、3委員会を統合し、ロータリー月間に因んだ月信投稿や各種情報発信を行うことでクラブを支援してゆきたいと思っております。

素より、上記3奉仕はロータリーの掲げる五大奉仕の1つで、特に、職業奉仕は、今日、社会から有用な人材を一層受け入れる観点から各種規定が緩和されてはおりますが、私としては、最も重要な奉仕であると考えております。

また、国際奉仕につきましては、地区やクラブが主体となって推進されていることとは思いますが、特に地区のDDF（地区財団活動資金）を余すことなく利用できるよう、グローバル補助金活用事業を一層推進してゆきたいと考えております。

地域社会奉仕につきましても、各クラブにおいて毎年実施されているところではありますが、特に当地区では、地区内45クラブの全クラブが地区補助金の活用事業を実施（100%）するという、日本国内34地区の中でも、傑出した実践地区であります。

各委員会と協力してクラブの支援をしてゆきたいと考えております。

青少年奉仕プログラム

8. 青少年交換委員会

ロータリーは、青少年交換を通じて、若者のエンパワメントを図り、リーダーシップの力を育成し、世界の理解と平和を推進しています。

青少年交換は、15～19歳の学生が海外に滞在し、留学する機会を提供するもので、2ヶ国のロータリーの地区・クラブで行われる交換（派遣・受入）プログラムです。

長期交換（約1年）と短期交換（約1ヶ月）があり、学生はお互いの国のホストファミリー宅に滞在しながら現地の学校に通います。

当地区では、毎年、長期交換4～5名、短期交換2～3名の実績があります。また近年は、身体的、性的、精神的な虐待から青少年を守ることも重要な役割となっております。

9. インターアクト委員会

インターアクトは、12～18歳までの青少年が、地元や学校で同じ世代の若者と知り合い、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区では、県内16の高等学校にそれぞれインターアクトクラブ（従って16の提唱ロータリークラブ）が存在し、日々の活動を実践するとともに、例年7月にインターアクト年次大会を開催しています。

また、毎年、国際交流事業として、台湾インターアクトクラブとの一泊ホームステイを含んだ相互交流を行っています。

10. ローターアクト委員会

ローターアクトは、18～30歳までの若者が集まり、地域社会でボランティア活動を行ったり、交流を深めながら、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区ではローターアクトクラブが10クラブ（従って提唱ロータリークラブが10クラブ）ありますが、現在、2クラブが活動を休止しています。

ローターアクトクラブは、毎月数回例会を行うなど、単体のクラブとしての活動とともに、他地区のローターアクトクラブとの交流もあり、当地区では、例年2月に地区年次大会を開催しています。

11. RYLA・学友委員会（ロータリー青少年指導者育成）

RYLA（ロータリー青少年指導者育成）は、若いリーダーを育て、ネットワークを築き、アイデアを広げ、行動を起こすよう、若者の意欲を高めるためのプログラムです。

当地区では毎年1泊2日で、ライラ（RYLA）研修セミナーを開催しています。

また、学友委員会は従来単体の委員会が設定されておりましたが、学友名簿の作成が歴代委員長のご努力で充実してきたことを踏まえ、本年度は、青少年ネットワークを希求するRYLA委員会と合体し、RYLA・学友委員会とさせていただきます。

引き続き、クラブと協力して、毎年輩出される学友の名簿作成を行うとともに、地区大会等における学友の発表等を担当して頂きます。

多地区合同プログラム

12. 米山記念奨学委員会

日本で学ぶ私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリーアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する、日本国内34地区の多地区合同プログラムです。

二度と戦争を起こさないという国際親善の視点から始まった米山記念奨学制度も、今日では、毎年800名を超す米山記念奨学生を支援するまでに成長し、当地区では、寄付実績も前年度、全34地区中8番目の実績（1人当たり21,771円）があり、寄付実績に応じて割り振られる奨学生も、例年20名前後となっております。

指定校の選考に始まり、新規の奨学生の選考、世話クラブのカウンセラーに対するセミナーの他、米山学友会の総会等も開催されます。

[ロータリー財団関係委員会]

ポリオプラスプログラム

1 3. ポリオプラス委員会（急性灰白髄炎）

ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムで、撲滅の認定が達成されるまでは、ほかの全てのプログラムに対して優先されることとされておりますが、日本においては、ポリオの発症は止まって久しく（38年経過）、特に新会員等には馴染みも薄いことから、十分な理解が浸透している状況にはないものと感じております。

本年度は、可能な限り日本語（急性灰白髄炎）を使用するとともに、ロータリアンの寄付の結果である収支決算の開示を広く地区内クラブへ、月信等を通じて行いたいと考えております。

そうした会員の十分な理解を前提に、本年度も世界ポリオ撲滅のための寄付の推進（目標1人30ドル以上）を行っていきたいと考えています。

1 4. 資金推進委員会

資金推進委員会は、RIとともに、世界のロータリー活動を資金面で支えている「国際ロータリーのロータリー財団」に対する寄付を推進する委員会であります。

当地区では毎年、年次基金寄付150ドル以上、ポリオプラス寄付30ドル以上を目標に、寄付の推進を行っており、実績は2017-2018年度、年次基金寄付1人当たり172.33ドル、ポリオプラス寄付1人当たり31ドルで、目標を連続して達成しております。

本年度も上記と同様の寄付目標達成のため、具体的には、ガバナー補佐と協力して、各クラブへのアプローチを行い、いわゆる縦軸の活動をして頂きます。

当地区は、「寄付ゼロクラブゼロ」を生方年度より3年継続しており、宮内年度も達成できれば4年連続ということにもなりますので、本年度も引き続き寄付目標達成に向けて邁進したいと考えております。

1 5. 資金管理委員会

ロータリー財団における補助金（地区補助金・グローバル補助金）は、地区やクラブの奉仕活動の大きな財源となっております。

当委員会は、ロータリアンの寄付が財源となって支給される各種補助金を厳格に管理するための委員会であります。

当地区は、地区補助金については、日本では断トツ（全クラブが使用）、恐らく世界でも類を見ない実績を上げておりますが、一方、DDF（地区財団活動資金）の残高が増加しつつありますので、グローバル補助金委員会と協力して、有効活用を推進してゆきたいと考えております。

補助金プログラム

16. 地区補助金委員会

私たちロータリアンの寄付を財源として成り立っているロータリー財団からの補助金のうち、地区補助金を担当する委員会です。

当地区は、6年前の新制度への移行以来、日本34地区の中でも地区内45クラブ(100%)が申請を行うなど、先進の地区ということができます。

今後とも、地区内の全クラブが地区補助金の活用を行うよう地区補助金申請を奨励するとともに、今後は各クラブの奉仕事業の質の面で、一層地域社会のニーズにマッチしていくよう支援してゆきたいと考えております。

17. グローバル補助金委員会

私たちロータリアンの寄付を財源として成り立っているロータリー財団からの補助金のうち、グローバル補助金を担当する委員会です。

当地区では、毎年数件のグローバル補助金を活用した申請が行われておりますが、毎年グローバル補助金予算が、1,000万円近くあるところ、数百万円の申請に留まっており、残額は最終的には地区内では利用できず、ポリオプラスやロータリー平和センターへの寄贈となってしまいます。

本年度、森田年度では、6つの重点分野に適合したグローバル補助金の申請モデルを開示するなどして、地区並びにクラブが、活発にグローバル補助金の申請を行えるよう活動してゆきたいと考えております。

当地区では常時2,000万円以上のDDF(地区財団活動資金)が残高として残っており、本年度、有効活用する流れを作ることを大きな目標としています。

ガバナー公式訪問要領・日程表

ガバナー公式訪問要領

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度

1. ガバナー公式訪問は単独クラブ訪問とします。
2. 訪問時は、ガバナー補佐、地区幹事、分区担当副幹事を原則同行します。
3. 公式訪問の進め方とタイムスケジュール
 - (1) クラブ役員懇談会（例会前50分）
会長・幹事・会長エレクト・会員増強委員長・公共イメージ委員長および地区役員、インターアクト、ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。
 - (2) 例会（ガバナースピーチに20分程度下さい）
 - (3) クラブ協議会（例会後60分）参加者は、上記役員のほか、各委員長、新入会員の出席をお願いします。内容は、クラブの現況、例会出席状況と楽しい例会作りの工夫、会員の年齢構成、会員増強と退会防止の方策、クラブの長所・改善点、各種寄付状況、奉仕プロジェクトの履歴と現況、公共イメージと認知度向上のための戦略などについて懇談したいと思います。
4. ガバナー補佐は、事前に所管のクラブを訪問し、例会あるいはクラブ協議会に参加し、クラブの現況とニーズを把握し、所定の書式（後日依頼）にて公式訪問の1週間前までに報告してください。
5. 各クラブは現況報告書（5部）を8月31日までにガバナー事務所に提出してください。9月1、2週に訪問するクラブは仮報告書で結構ですから、訪問2週間前に提出してください。



日程表

2018年	9月	4日 (火)	沼田
		6日 (木)	渋川
		10日 (月)	高崎
		11日 (火)	富岡かぶら
		12日 (水)	富岡
		13日 (木)	碓氷安中
		16日 (日)	RLIセミナー (Part I)
		18日 (火)	安中
		19日 (水)	新田
		20日 (木)	藤岡
		21日 (金)	藤岡南
		25日 (火)	高崎セントラル
		26日 (水)	前橋中央
		27日 (木)	高崎東
	10月	9日 (火)	高崎南
		10日 (水)	前橋南
		11日 (木)	群馬境
		12日 (金)	前橋西
		15日 (月)	伊勢崎東
		16日 (火)	伊勢崎南
		17日 (水)	高崎北
		18日 (木)	伊勢崎中央
		19日 (金)	高崎シンフォニー
		22日 (月)	桐生
		23日 (火)	桐生赤城
		24日 (水)	伊勢崎
25日 (木)	富岡中央		
26日 (金)	桐生西		



日程表

2018年	10月	29日 (月)	前橋北
		30日 (火)	前橋
		31日 (水)	桐生南
	11月	13日 (火)	藤岡北
		14日 (水)	太田西
		15日 (木)	前橋東
		16日 (金)	太田中央
		20日 (火)	太田南
		21日 (水)	大泉
		22日 (木)	太田
		27日 (火)	館林西
		28日 (水)	館林東
		29日 (木)	館林ミレニアム
		30日 (金)	館林

年間行事予定表

開催日		項目	場所	
2018年	『会員増強・新クラブ結成推進月間』			
	8月	4日(土)	RLI ディスカッションリーダー研修会	前橋問屋センター会館
		18日(土)	ロータリー財団セミナー	前橋問屋センター会館
		24日(金)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
		25日(土)	会員組織強化・ 女性ネットワーク合同委員会	前橋問屋センター会館
		26日(日)	青少年交換委員会(長期受入学生歓迎会・ 派遣学生帰朝報告会)	前橋問屋センター会館
	『基本的教育と識字率向上月間』			
	9月	9日(日)	地区大会記念ゴルフコンペ	太田 鳳凰ゴルフ場
		15日(土)	群馬県ロータリークラブ野球大会 開会式	
		16日(日)	RLIセミナー Part I	前橋問屋センター会館
		22日(土) (午前)	第2回ガバナー諮問委員会	前橋商工会議所
		22日(土) (午後)	第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋商工会議所
		30日(日)	米山記念奨学生カウンセラー研修会	前橋問屋センター会館
		30日(日)	米山研修セミナー	前橋問屋センター会館
	『経済と地域社会の発展月間』・『米山月間』			
	10月	6日(土)	地区指導者育成セミナー	館林市文化会館
		6日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	レストランジョイハウス
		7日(日)	地区大会	館林市文化会館
		7日(日)	懇親会	レストランジョイハウス
			群馬県ロータリークラブ野球大会 閉会式	
10日(日)		RI決議審議会(オンライン)		
21日(日)		青少年交換派遣学生選考会	前橋問屋センター会館	
28日(日)		RLIセミナー Part II	前橋問屋センター会館	

『ロータリー財団月間』				
11月	3~4日	RYLA研修セミナー	高崎 サンコー72CC	
	10日(土)	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋商工会議所	
	11日(日)	青少年交換派遣候補生 第1回オリエンテーション	伊勢崎プリオパレス	
	25日(日)	RLIセミナー PartⅢ	前橋問屋センター会館	
『疾病予防と治療月間』				
12月	1日(土)	(森田年度) 第1回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館	
	9日(日)	米山記念奨学生選考会面接官 オリエンテーション	ホテルメトロポリタン高崎	
	9日(日)	米山学友会忘年会	ホテルメトロポリタン高崎	
	15日(土)	(森田年度) 第1回ガバナー補佐・ 委員長予定者合同会議	伊勢崎プリオパレス	
	16日(日)	青少年交換学生クリスマス会	伊勢崎プリオパレス	
2019年	『職業奉仕月間』			
	1月	6日(日)	第3回ガバナー諮問委員会・ GE(森田) 壮行会	
		12~19日	国際協議会(GE出席)	サンディエゴ
		19日(土)	米山記念奨学生 選考会	前橋問屋センター会館
		19日(土)	第1回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所
		26日(土)	会員組織強化・ 女性ネットワーク合同委員会	前橋問屋センター会館
		29日(火)	(森田年度) 委員会事業計画協議会 (グループ毎)	前橋問屋センター会館

『平和と紛争予防／紛争解決月間』

2月	16日（土）	第4回ガバナー諮問委員会・ GE（森田）報告	
	16日（土）	（森田年度）地区チーム研修セミナー	
	23日（土）	ローターアクト年次大会	高崎
	土・日	各地IM（8か所）	

『水と衛生月間』

3月	2日（土）	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルメトロポリタン高崎
	16～17日 （土）（日）	会長エレクト・幹事エレクトセミナー （PETS・SETS）	伊香保 福一
	23日（土）	第2回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所
	28～31日	IA海外研修	台湾

『母子の健康月間』

4月	13日（土）	（森田年度）第2回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
	13日（土）	（森田年度）第2回ガバナー補佐・ 委員長合同会議	伊勢崎プリオパレス
	14日（日）	青少年交換ホストクラブ 第1回オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	14～18日	規定審議会	シカゴ
	20日（土）	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所
	21日（日）	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	21日（日）	新規米山記念奨学生カウンセラー・ 奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	21日（日）	継続米山記念奨学生 資格審査面談	前橋問屋センター会館

『青少年奉仕月間』			
5月	10～11日	IA海外研修受け入れ	中央情報経理専門学校
	12日（日）	地区研修・協議会	伊勢崎プリオパレス
『ロータリー親睦活動月間』			
6月	1～5日	国際大会	ドイツ・ハンブルク
	8日（土）	米山記念奨学生指定校選定会議	ホテルメトロポリタン高崎
	8日（土）	米山学友会総会	ホテルメトロポリタン高崎
	15日（土）	第5回ガバナー諮問委員会	
	15日（土）	現・新地区役員合同連絡会議	
	16日（日）	青少年交換受入学生歓迎会・ 夏期交換学生歓迎会	前橋問屋センター会館
	22日（土）	（森田年度）第3回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
	22日（土）	（森田年度）会員増強セミナー	伊勢崎プリオパレス

周年行事予定クラブ

開催日			項目	場所
2018年	10月	16日(火)	前橋ロータリークラブ 65周年記念式典	ロイヤルチェスター前橋
2019年	3月	23日(土)	前橋中央ロータリークラブ 25周年記念式典	ロイヤルチェスター前橋
		25日(月)	高崎ロータリークラブ 65周年記念式典	ホテル グランビュー高崎
	4月	6日(土)	高崎セントラルロータリークラブ 20周年記念式典	ホテル グランビュー高崎
		20日(土)	館林東ロータリークラブ 35周年記念式典	レストラン ジョイハウス
		23日(火)	渋川みどりロータリークラブ 25周年記念式典	プレヴェール渋川
	5月	19日(日)	沼田ロータリークラブ 60周年記念式典	ホテル ベラヴィータ
			前橋西ロータリークラブ 55周年記念式典	未定
未定			藤岡ロータリークラブ 55周年記念式典	未定
未定			高崎東ロータリークラブ 40周年記念式典	未定
未定			伊勢崎東ロータリークラブ 25周年記念式典	未定

新会員紹介



氏名 内藤 浩
クラブ 前橋
入会日 2018年07月17日
職業分類 病院
勤務先 JCHO群馬中央病院
役職 院長
推薦者 山田 邦子



氏名 吉田 典之
クラブ 前橋
入会日 2018年07月17日
職業分類 新聞
勤務先 (株)上毛新聞社
役職 常務取締役
営業本部長
推薦者 江原 友樹



氏名 山本 清二
クラブ 前橋西
入会日 2018年07月20日
職業分類 外国為替
勤務先 (株)東和銀行
役職 常務執行役員
本店営業部長
推薦者 岡野 訓也



氏名 小池 茂
クラブ 前橋東
入会日 2018年07月19日
職業分類 太陽光パネル
メンテナンス
勤務先 株式会社 シャイン
役職 代表取締役
推薦者 釘島 伸博



氏名 小和瀬 健
クラブ 前橋北
入会日 2018年07月02日
職業分類 タイヤ販売業
勤務先 (株)前橋タイヤ
サービスセンター
役職 代表取締役
推薦者 亦野 高裕



氏名 中嶋 薫
クラブ 前橋北
入会日 2018年07月09日
職業分類 塗装工事業
勤務先 中嶋塗装工事(株)
役職 代表取締役
推薦者 佐藤 敬



氏名 小金澤 啓人
クラブ 桐生
入会日 2018年07月23日
職業分類 銀行
勤務先 群馬銀行桐生支店
役職 支店長
推薦者 松島 宏明



氏名 青木 清勝
クラブ 伊勢崎
入会日 2018年06月20日
職業分類 金融業
勤務先 桐生信用金庫
役職 常務理事
推薦者 牛久保 哲男
茨澤 一良



氏名 石関 孝史
クラブ 伊勢崎
入会日 2018年07月25日
職業分類 商業銀行
勤務先 (株)群馬銀行
役職 伊勢崎支店支店長
推薦者 新井 良和
関 徹也



氏名 岩淵 真知子
クラブ 群馬境
入会日 2018年08月02日
職業分類 食品製造業
勤務先 (株)クリハラ
役職 代表取締役
推薦者 田島 正広



氏名 新井 典子
クラブ 高崎
入会日 2018年07月11日
職業分類 飲食業
勤務先 AUBE
役職 代表
推薦者 関口 俊介
森田 岳志



氏名 仲澤 賢一
クラブ 高崎
入会日 2018年07月11日
職業分類 酒類販売
勤務先 有限会社仲沢酒店
役職 代表取締役
推薦者 関口 俊介
岡田 千代美



氏名 藤井 雅巳
クラブ 太田中央
入会日 2018年06月01日
職業分類 衣服販売
勤務先 (有)企業ユニ
フォームアカデ
ミー
役職 代表取締役社長
推薦者 松本 徹



氏名 帆足 秀司
クラブ 館林
入会日 2018年07月01日
職業分類 建設業
勤務先 ダイコウ
外柵産業(有)
役職 取締役専務
推薦者 小池 敏郎
瀬山 欣春



氏名 中世 吉昭
クラブ 館林
入会日 2018年07月06日
職業分類 歯科医
勤務先 なかせ歯科医院
役職 院長
推薦者 上野 和路
毛塚 宏



氏名 吉野 隆
クラブ 館林東
入会日 2018年07月04日
職業分類 人材派遣
勤務先 トップエンジニア
リング(株)
役職 取締役会長
推薦者 青木 幸雄
青木 一夫



氏名 一ノ瀬 忠雄
クラブ 富岡
入会日 2018年07月18日
職業分類 社会教育
勤務先 元 教師
推薦者 松倉 紘洋



氏名 本島 勝則
クラブ 藤岡
入会日 2018年07月19日
職業分類 商業銀行
勤務先 (株)群馬銀行
藤岡支店
役職 支店長
推薦者 牧 司郎



氏名 高見澤 佑周
クラブ 安中
入会日 2018年07月03日
職業分類 小売業
勤務先 (株)荻野屋
役職 専務取締役
推薦者 松岡 将之

文庫通信 (372号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料より

「ロータリーの扉を開く言葉」 服部 芳樹	2018	11p
「ロータリー語ときあかし辞典」 服部 芳樹・北川 有智	2018	43p
「日本のロータリーの伝統を守るクラブ細則」 服部 芳樹	2018	12p
「職業奉仕委員会報告書－永続・発展の職業奉仕とは！」 (D.2530)	2018	28p
「『内向き』と『外向き』わかりやすい職業奉仕」 (D.2780)	2018	43p
「プロフェッションの職業奉仕」 高良 明 (凡太の奉仕経営物語)	2018	5p
「ヘルスイ ライフ－ロータリアンの願い」 小林 博	2018	17p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

「ロータリーの心と原点〈改訂第8版〉」 廣畑 富雄 〔申込先：(株)エムケイスペース FAX(092)737-9557〕	2018	171p
「ロータリー財団ハンドブック」 (D.2750) 〔申込先：D.2750 FAX(03)5472-2750〕	2018	123p
「初期ロータリーを顧みて」 鈴木 宏 監修 〔申込先：鈴木 宏 FAX(028)660-2224〕	2014	106p

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前 10 時～午後 5 時 休館 = 土・日・祝祭日



出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
45	2112	2112	2127	15	154	81.70

	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
				年	月	月	増	女
				度	初	末	減	性
第1分区	前橋	5	75.70	124	124	120	-4	11
	前橋西	4	81.80	58	58	58	0	5
	前橋東	4	80.62	51	51	53	2	5
	前橋北	4	85.62	71	71	73	2	2
	前橋南	3	87.88	44	44	44	0	2
	前橋中央	4	75.00	26	26	26	0	7
	合計		81.10	374	374	374	0	32
第2分区A	桐生	4	75.32	61	61	61	0	7
	桐生南	4	78.52	35	35	36	1	4
	桐生西	4	93.24	63	63	63	0	9
	桐生赤城	5	78.39	42	42	45	3	9
	合計		81.37	201	201	205	4	29
第2分区B	伊勢崎	4	92.71	84	84	84	0	3
	群馬境	4	85.72	25	25	25	0	1
	伊勢崎中央	4	80.72	85	85	85	0	6
	伊勢崎南	4	77.50	30	30	30	0	1
	伊勢崎東	4	86.37	32	32	33	1	1
	合計		84.60	256	256	257	1	12
第3分区	高崎	3	87.97	130	130	136	6	14
	高崎南	4	76.10	73	73	74	1	9
	高崎北	3	74.88	72	72	72	0	0
	高崎東	4	73.89	42	42	43	1	3
	高崎シンフォニー	4	79.07	43	43	43	0	3
	高崎セントラル	4	100.00	36	36	36	0	0
	合計		81.98	396	396	404	8	29

	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
				年	月	月	増	女
				度	初	末	減	性
第4分区A	太田	4	87.67	73	73	73	0	3
	太田西	4	92.29	19	19	19	0	2
	太田南	3	80.59	47	47	47	0	3
	新田	3	81.25	31	31	30	-1	3
	太田中央	4	85.91	55	55	55	0	3
	合計		85.54	225	225	224	-1	14
	第4分区B	館林	4	84.32	53	53	55	2
大泉		4	71.28	34	34	34	0	3
館林西		4	81.25	21	21	21	0	1
館林東		4	78.95	21	21	20	-1	3
館林ミレニアム		4	86.41	27	27	27	0	1
合計		80.44	156	156	157	1	10	
第5分区	渋川	4	97.92	64	64	63	-1	6
	沼田	4	70.60	69	69	72	3	3
	草津	3	55.50	15	15	15	0	1
	中之条	4	82.82	21	21	21	0	1
	沼田中央	4	92.22	45	45	45	0	3
	渋川みどり	4	84.13	36	36	36	0	2
	合計		80.53	250	250	252	2	16
第6分区	富岡	4	96.69	44	44	45	1	4
	藤岡	4	82.66	52	52	52	0	2
	安中	4	60.19	53	53	54	1	3
	藤岡北	5	75.26	15	15	15	0	1
	富岡中央	4	86.69	35	35	35	0	1
	碓氷安中	4	63.64	11	11	10	-1	0
	藤岡南	3	85.72	13	13	13	0	0
	富岡かぶら	3	73.61	31	31	30	-1	1
合計		78.06	254	254	254	0	12	

2018年7月末現在

コラム

コラム〈みんなの広場〉—皆様の投稿をお待ちします—

これから1年間ガバナー月信でお付き合いをお願いしますが、少しは為になる気持ちのほぐれる話を一話ずつこのコラムに書きたいと思います。このコラムにロータリアンの皆さんが投稿してくださり、意見交換の場になればと思います。

私は、英米文学と英語学の教員としてスタートしましたが、後年になると、隣接の学問分野に関心が湧き、異文化理解—日本人と外国人、言語と国民性の相違などを研究しました。僧侶でもありますので、仏教のみならずほかの宗教へも関心があります。

このコラムでは、私の随想〈徒然に思い浮かぶこと〉とはいえ、ロータリー活動に関係のあることを異文化理解・仏教の教えの観点から書かせていただきます。

【第3話】共生社会におけるロータリーの奉仕と仏教の布施（3）

—地獄と極楽—

戦後、まちづくりの中心的パワーであった青年団や婦人会という団体は今は衰退してしまいました。青年団は、終戦後地域のために大いに活躍しました。村落の神社仏閣の清掃をし、地域の祭りや盆踊りや運動会のリーダーでありました。社会奉仕に残した功績はたいへん大きいものであります。

近年、ボランティア活動が盛んになってきました。ボランティア（volunteer）という言葉は、もともとはラテン語で「自由意志」という意味で、「自由意志で自発的に他のために協力貢献する人」のことです。当然、奉仕活動だけでなく、自発的に物品を提供する援助者・篤志家も含まれます。人のために尽くす行為には、労力も金品も教えも入ります。西洋では「汝隣人を愛せよ」というキリスト教の精神に基づいて、ボランティア活動は宗教的活動として発展しました。その精神が国際的活動となったものでよく知られている活動が赤十字社（1863年発足）であります。ロータリークラブやライオンズクラブなどの奉仕団体もそうです。最近は、いろいろな国際的な援助・協力のための活動団体を総称して政府機関の団体をODA、民間の非営利団体をNGOやNPOと呼んでいます。わたしたちのロータリーの特徴は、奉仕活動が最終目的ではなく、奉仕を通じてリーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組むことです。個人としては自己の人間性を錬磨し養成し、ロータリアンと呼べるにふさわしい人間になることを目的としているのだと思います。

「月信」8月号では、ロータリーの「奉仕」と仏教の「布施」について、特に仏教の布施について考えました。今回は、ロータリアンの共通語である「善意の奉仕」や「超私の奉仕」を念頭において、「地獄と極楽」という小話をします。話のタネは仏教説話の中にありますが、ストーリーは私が作ったものです。

まず、前回の話を要約します。仏教では、人間として理想を極めた人を「仏」といいます。仏になることを「悟りを開く」「成仏する」「正覚する」といいます。「仏になる」とは「死ぬ」ことではありません。悟りを開くための実践項目が6つあるといっています。それは六波羅蜜であります。六波羅蜜（ろくはらみつ）とは、ブツダ（覚者）を目指す菩薩（悟りを開こうと努力する人）が修めなくてはならない6つの実践徳目のことです。

＊ ＊ 「はらみつ」：「彼岸（覚り）に到る。悟りを開く」行いの意味。

1. 布施波羅蜜 - 施すこと 2. 持戒波羅蜜 - 戒律を守ること 3. 忍辱波羅蜜 - 耐え忍ぶこと。あるいは怒りを捨てること（慈悲） 4. 精進波羅蜜 - 努力すること 5. 禅定波羅蜜 - 特定の対象に心を集中して、散乱する心を安定させること 6. 智慧波羅蜜 - 物事をありのままに観察する「観」によって、思考に依らない本源的な智慧を発現させること

第1の徳目の「布施」は、他に施すことです。布施には、金品を施す「物施、財施」と慰めてやったり励ましてやったりする「心施」（無畏施）と人に生きる道を教える「法施」があります。坊さんが葬式や法事を司祭し法話することは「法施」であり、檀信徒が金品を施せばこれが「物施」であります。施す人は「施主」であり、サンスクリット語のダーナー（与える）の訳語である「旦那、だんな」であります。募金に協力したり、相談相手になってやったり、何かを教えてやったりすることも布施です。われわれは誰でも、何らかの形で他人のために役立ちたいという気持はあるし、形の違いと量の多少はあっても現にそうしております。ボランティアと呼ぼうと奉仕と呼ぼうと布施と呼ぼうと、呼称は何であれ、人のために尽くそうとする輪が広がるのがよいことであります。この輪を一層広げることが共生なのです。これはわれわれロータリアンが日々願い、努力しているところでもあります。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

地獄と極楽

昔、若くして亡くなった人がいました。葬式も終わり、はや五七日忌(死後35日目)を迎えました。五七日忌は地蔵菩薩が守り本尊で、閻魔様の裁きを受ける日とされています。さて、この世の裁きを受けるために顧問弁護士にあたる地蔵様に連れられて裁判長閻魔様の法廷に出廷しました。

閻魔大王は、われわれがこの世で行った善行・悪行がすべて記録された閻魔帳を開きました。すると、「うーむ」と困惑した顔をして、しばらくしてからおもむろに顔を上げて、

「まことに申し訳ない。君はまだお呼びでなかった。ページがくっついていたために、何ページか先をめくり、君を呼び出してしまった。悪いが、もう一度あの世に帰ってくれ。君も門前で気がついたと思うが、近ごろ戦争があったために、亡者が大行列をなして裁きの順番を待っている有様なのだ」

「大王様、帰れとおっしゃられても、わたしはお葬式をしてもらい、香典をもらい、家族や親戚や友人と野辺の別れをして来たのですから、今さらあの世に帰れません。どうか、特段のご配慮を下さり、片隅でもよいですから、この世に置いてください」と亡者は頼んだ。

閻魔大王は、「うーむ」としばらく考えた後、

「わかった。君の言い分もわかる。それでは、紹介状を書いてやるから、それを持って、地獄と極楽を見て帰りなさい。地獄と極楽の様子を娑婆の人に話してやれば、君が確かにこの世に来たことを信じてくれるだろう」と言って、大王は官吏に命じて紹介状を地獄と極楽の門衛長へ宛てて書いてくれた。

大法廷から出てまっすぐ行くと道は二股に分かれ、左に行くと地獄、右に行くと極楽という標識があった。まず、地獄から見ようと思い、左に曲がった。しばらく行くと、大楼阁が遠くにぼんやりと霞んで見えてきた。地獄の大門をくぐり、中に入ると、そこは広大な敷地に豪華な作りの建物が連なって見えた。しかし、樹木は、一面火山灰をかぶった様で、見るからに気味が悪く、恐ろしいところであった。

「これが地獄か」と亡者はつぶやいた。

広いまっすぐな路を恐る恐る進むと、両側の建物の中から悲鳴やうめき声が聞こえる。建物の中は刑場なのだろうか。地獄の仕置き人の一眼や三眼の鬼たちが窓からこちらに顔を向けてじろじろ見ている。その視線の鋭さは、暗闇に光る虎の眼光のようである。いっそう怖くなり、目を閉じ耳をふさいで小走りに進んだ。

「これが、子供のころ、お盆にお寺の本堂で見たことのある地獄十王図の鬼たちか。あの声は、亡者が地獄の責めにあって苦しむ声か」と思った。

食べ物を無駄にしたものは食べようとすると火がついて食べられない絵、嘘をついた者が地獄の刑場で鬼に舌を抜かれる絵、極悪非道な行いをした者はマグマを噴く地獄の釜に投げ込まれる絵、それらがありありと思い出された。

しばらくすると、やがて苦しみに絶叫する声が遠のいた。目を開けてみると広場に出ていた。左手奥に大きな建物が見えた。「地獄の沙汰も金次第」という言葉があるが、「地獄の境内にいる以上もうジタバタしても始まらまい。どうにでもなれ。全部見て帰ろう」と思い、その建物に近づいた。「大食堂」と書いた額が架かっている。中からカチカチいう音と喧嘩をしているようなどよめきが聞こえてくる。窓辺に近づいて、埃で汚れた窓を指でこすって覗きこんだ。

体育館のように大きな部屋の中央にこれまた大きな長いテーブルがあり、その上にあらゆるご馳走が山と並べてある。テーブルの周囲には、やせ細って、目玉が飛び出した者、眼孔の奥から異様な光を放つ者たちがわめき喧嘩をしている。

「人間界で、欲張りで、自分のことしか考えず、施しをしない者は地獄に堕ちて餓鬼となるというあの餓鬼とはこの者たちのことか」誰一人ふっくらとした者はいない。

よく見ると、みな3尺（90cm）もありそうな長い箸を持っている。手づかみで食べることは許されていないようだ。近くのご馳走を食べようとして箸を短く持ち、つかんで口のそばまで持っていくと、箸の先が隣りの餓鬼の邪魔になるために、箸を叩かれて口元まで運んだ物を落としてしまう。

箸を長く持ち遠くの物をとった者は、自分の口には近づかず隣の者に食べられてしまいそうになる。満足に食べられる者は誰一人いない。カチカチいう音は「邪魔だ、邪魔だ」と目の前の箸を払い落そうとする箸の音だったのだ。こんな有様だから、餓鬼たちは満足に食べられずやせ細ってしまったのだ。

この若い亡者は、誰にも気づかれないうちに地獄の門を出ようと思った。その場を離れ、今来た路を一目散に走り大門を出た。若者は、辻まで戻り、ほっとして座り込み、今来た道を振り返り、遠くに地獄の楼閣を見た。小半時してから立ち上がって、右の極楽の道に進んだ。

「極楽浄土はどんなところだろう。早く行ってみよう」と走り出した。

地獄と同じ距離のところに極楽の門があった。大門の外から見た全景も境内の建物の形も配置も樹木の並びも地獄と少しも変わらない。しかし、そこは光明に照らされ一面はまばゆいばかりに輝く春爛漫の花園だった。

「これが極楽か。生死をさまよった人がきれいな花園を見たと言ったが、まさかこのことか」とため息を漏らした。

若い亡者は五色満開に花咲き、たわわに実をつけた大きな木々に近づいた。よく見ると、その果実は、メノウ、ルビー、サンゴ、ダイヤ、金、銀…八宝の宝石だ。建物の軒先の風鐸は金銀の宝石だ。そよ風に揺れて美妙的な音楽を奏でている。ふっくらとした仏たちが談笑する声が建物の中から聞こえてくる。軒先や木陰で涼む仏たちもいる。これこそ、「五智八音の妙楽を喜び、とこしえに彼の蓮台に住して三平等五彩の宝樹を見む」という経文の一節の通りである。若者はその仏たちに会釈をして進んだ。仏たちは笑顔を見せてくれた。

地獄と同じ広場まで来ると、やはり同じ作りの「大食堂」と書いた扁額が見えた。窓辺に近づき、中の様子を見た。窓はきれいで埃一つついていない。テーブルには、同じ料理が山積みとなっている。地獄の餓鬼たちと同じ長い箸を持った仏たちは、和やかに食事をしている。どこが違うのだろう。よく見ると、仏たちは、箸を長く持ち、届く範囲の仏に

「妙徳さん、何か取りましょか」

「そのリンゴをお願いします」

「はい、どうぞ」

「覚成さん、あなたは何か食べますか」

「その饅頭を取ってください」

と、和気あいあいとして穏やかである。彼らはまず相手に取ってやり、そのお返しに食べたい物を取ってもらう。地獄の食卓ではわれ先に食べようとするのに対して、極楽では、先に他人に食べさせようとする。すると、相手はそのお返しでこちらにも欲しいものを取ってくれるのである。ギブ・アンド・テイク (give-and-take) の食べ方をしているのであります。

これ以上語ることは無用と思います。ボランティアや奉仕の精神とは、共に生きようとする無償の善意が根底になければならないということです。地獄も極楽もまったく同じ作りであることに若者は気づきましたが、地獄も極楽も、どこにあるのではなく、この世そのものです。私たちの考え方、生き方一つで、この世は地獄にもなり極楽にもなるのであります。極楽は遠く死後にあるのではなく、今日この日の私たちの心前にあるのです。死して浄土を願うにあらず、現世を苦しみの娑婆から六羅蜜多を修して自他ともに愁いなく共生できる共生社会が密厳国土であり、極楽浄土であります。そのために日々精進することが人生なのです。これはロータリーの精神と同根であると思われま

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



ハイライトよねやま

2018.8.14

Vol.221

2019年4月採用米山奨学生の募集を開始

2019年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で538（前年度534校）。指定校からの被推薦者数は1,784人（前年度1,733人）で、この中から新規奨学生617人（*）が選ばれます。（*）継続生辞退、奨学期間半年および地区奨励奨学生採用により変動有り

大学・大学院以外の教育機関在籍者を対象とする地区奨励奨学金を導入したのは12地区で、指定校は23校、そのうち初指定は4校でした。

今回は、初めて全34地区が地区独自の選考基

準（地区選考の目安）を提示しました。最も多かった要望は「申込者が1カ国に偏らないよう国籍割合に配慮してほしい」（32地区）、次いで「ロータリー活動への積極性」（29地区）「日本語能力」（22地区）などが挙げられました。

指定校通知および募集要項・申込書などの書類は8月3日に指定校にメール配信しました。指定校からの応募期限は10月15日です。

※2019学年度採用の指定校一覧や募集要項・申込書式は当会ホームページにて公開しています

寄付金速報 — 2018-19年度も好調にスタート —

2018-19年度の寄付金は約2億3,000万円、前年度と比べて7.1%増（普通寄付金3.1%増、特別寄付金18.8%増）約1,500万円の増加となりました。2007年度以降直近12年間の中では最高額となり、順調な滑り出しとなりました。

ご寄付をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。米山記念奨学事業は、日本のロータリーが世界に誇るプログラムです。今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

日台インターアクト交流、米山学友が懸け橋に

8月2～5日、第2660地区（大阪府）インターアクトが海外研修のため台湾を訪問し、第3461地区（台湾）インターアクトと交流をしました。同地区インターアクトは毎年、海外研修を行っています。今回、多くの米山学友が会員として所属する台中文心RCとの協議を重ねるなかで、初の台中訪問が実現。第3461地区から15校145人、第2660地区から10校55人のインターアクター、両地区のロータリアンが総勢330人以上参加する交流会となりました。

日台インターアクター共同での奉仕活動のほか、それぞれが自国の文化紹

介やダンスなどの発表をし、最後には大きな輪になって全員が盆踊りを踊りました。

第3461地区の張光雄ガバナーは「とても良い勉強の機会になったと思う。日台の学生の情熱を感じる事ができた。初の交流が大成功だったと思う」と述べ、第2660地区インターアクト委員長中野隆二氏も、「米山奨学会の長

年の取り組みの一つの成果だと思う。一朝一夕にはできない事。先輩のロータリーアン達に感謝している」と、感想を語っていただきました。

（取材協力：ガバナー補佐エレクト、元地区米山奨学委員長 福田治夫氏）



モンゴル米山学友会から西日本豪雨被災地への義援金

「平成30年7月豪雨」は、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。このニュースに心を痛めたモンゴル米山学友会では、3月に就任したばかりのオイドブ・バトゲレル会長

(2005-07/前橋RC)が中心となり、会員に義援金を呼び掛けました。

7月20日、同学友会を代表して、創立会長のジャンチブ・ガルバドラッハさんと第3代よねやま親善大使のエンフボルド・ボロルトヤさんが当会事務局を訪問。今なお避難生活を送る被災者や復興のために尽力する方々を気遣い、「被災された皆さまのために少しでも役立てただけいたら」との気持ちを綴ったお見舞い

の手紙と共に、モンゴル学友36人からの義援金14万9,050円を届けてくれました。義援金は全額、第2710地区(広島県・山口県)に送金しました。



ウイグル出身の米山学友らが西日本豪雨被災地へ

8月4日、関東在住の中国新疆ウイグル自治区出身の米山学友・家族計16人が、岡山県倉敷市の西日本豪雨被災地で、土砂撤去などのボランティア活動をしました。そのうちの一人、イスカンドル アブドバリさん(2017-18/川越RC)によると、今回の活動は在日ウイグル人有志団体が企画。総勢43人が現地へ赴き、行くことのできなかつた人たちも募金に協力して、義援金30万円を寄付したそうです。

ボランティアを終えたアブドバリさんは、「学友として、ロータリアンの方々にいつも感謝の気持ちで胸いっぱいです。今回のボランティア活動は恩返しとまでは言えないが、災害地の皆様への応援の心が少しでも伝わればと思います。災害地の早期復旧を祈っています。今後もこのような活動に積極的に参加し、少しずつ恩返しして行きたいと思っています。日本、頑張れ!」と、メッセージをくださいました。

今回のボランティア活動に参加した米山学友

- ・ディリムラット ティリワルディさん(2003-04/熊谷RC) ・マヒムト アブドワイトさん(2011-12/坂戸RC)
- ・天山 シェムシデンさん(2005-06/児玉RC) ・オシュル イブラヒムさん(2015-07/坂戸さつきRC)
- ・イブラヒム アジさん(2005-06/羽生RC) ・イスカンドル アブドバリさん(2017-18/川越RC)
- ・サイダル アブドサマティさん(2018-09/坂戸RC) ほか8名および学友の配偶者1名



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)

ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 miyauchi@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。（15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。）新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信のPDFデータを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願いいたします。

表紙写真解説：旧秋元別邸

場所・概要

最後の館林藩主秋元家が別邸として所有していた建物で、明治末期から大正初期に建てられたと考えられています。主屋は木造平屋建て・瓦葺きの入母屋造り、離れ座敷の洋館は昭和初期に東京の本邸から移築されたものです。和風建築と洋館の調和が美しい和洋折衷の建物で、近代和風建築の様式を知る代表的な建物です。

